

「横浜市 人口のあゆみ 2020」を発行します！

「横浜市 人口のあゆみ」は、昭和43年に初回を刊行して以降、約10年に一度、発行をしています。本書では、過去数十年に遡って、人口に関する様々なデータを掲載・分析しており、人口という側面から本市が歩んだ足跡を振り返ることができます。

本書の主な特徴

①人口の長期時系列データが1冊に！

市制施行時の明治22年から令和元年まで、人口に関する様々な長期的なデータを掲載しています。

<主な掲載データ>

- 男女別人口、世帯数、面積 ●年齢別人口 ●流入・流出人口 ●人口動態(出生・死亡・転入・転出)
- 配偶関係別人口 ●労働力人口 ●外国人人口



②小地域データを掲載

市内全ての町字の人口・世帯数を昭和44年以降、毎年分を掲載しています。

※掲載イメージ

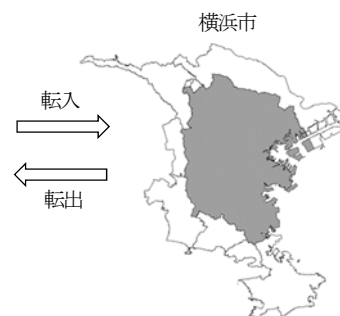
	昭和44年 1969		昭和45年 1970		～	令和元年 2019	
	世帯数	人口	世帯数	人口		世帯数	人口
〇〇区	70,000	250,000	75,000	255,000		150,000	300,000
△△町	500	1,000	550	1,050		1,000	1,500

③移動人口を地域別に掲載

転入・転出人口を近隣の市区別に平成7年以降、24か年分を掲載しています。

※掲載イメージ

	平成7年 1995	平成8年 1996	～	平成30年 2018
転入	20,000	18,000		
××市	800	600		900
◎◎市	300	300		300
転出	19,000	17,500		16,000
××市	750	650		600
◎◎市	250	230		250



④掲載表はExcel データでダウンロード可能

本書に収録している全ての統計表を、Excel形式で「横浜市統計情報ポータル」に掲載します。統計表をダウンロードして2次的利用をすることができます。

【配架場所】 市庁舎1階市民情報センター、区役所、図書館

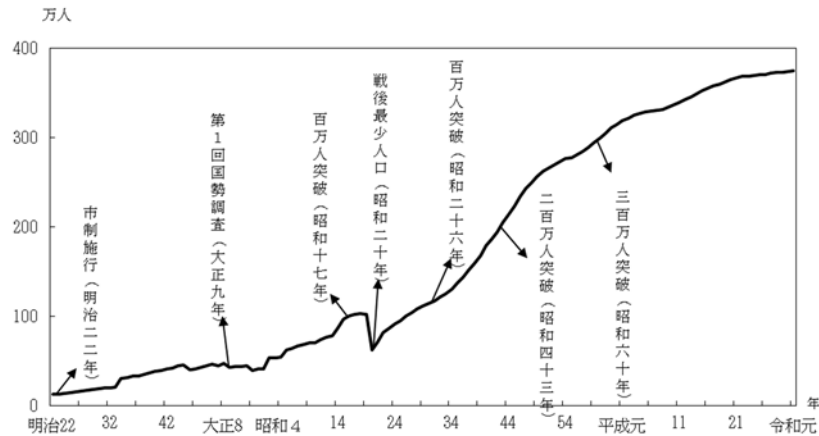
【掲載先】 横浜市統計情報ポータル (<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/kankobutsu/index-j.html>)

※本書からの抜粋

第1章 人口の推移

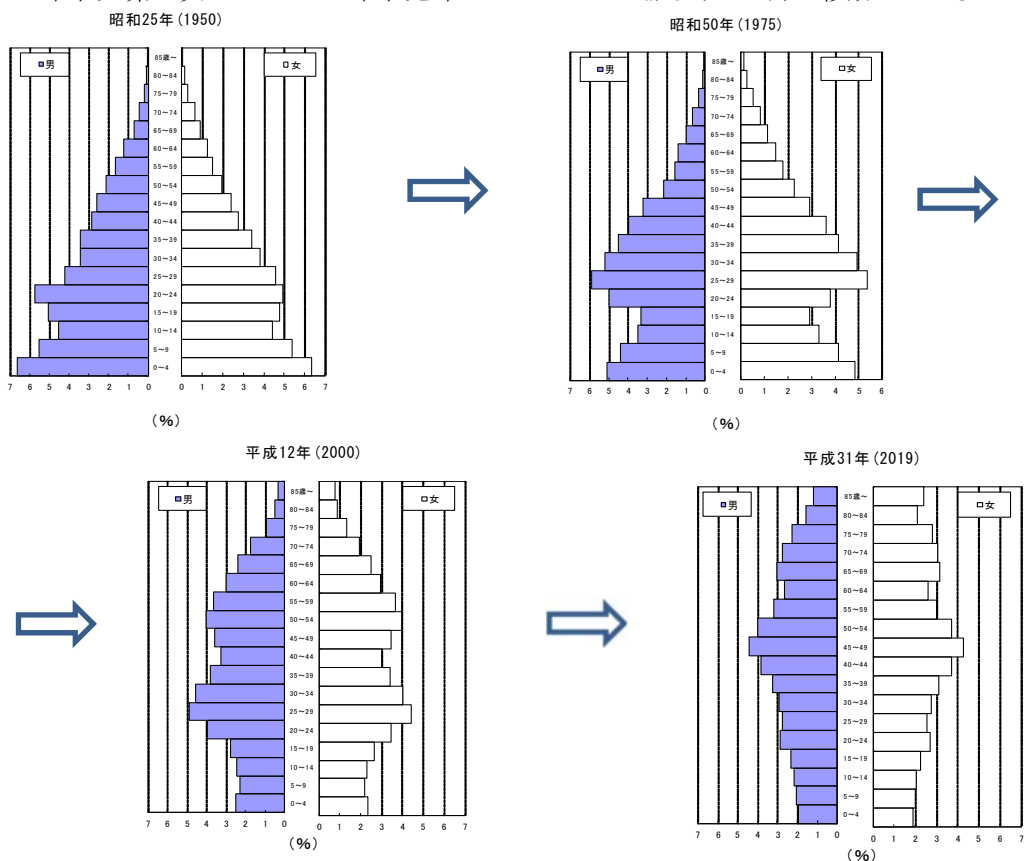
令和元年の人口は374万8781人、市としては全国1位の人口

令和元年（2019年）10月1日現在の横浜市の人口は374万8781人、世帯数は171万0900世帯、1世帯当たりの世帯人員は2.19人、市域面積は435.43km²で、1km²当たりの人口密度は8,609人となっている。明治22年（1889年）の市制施行時の人口11万6193人、面積5.40km²と比較すると、人口は約32倍、面積は約81倍に達している。また、横浜市の人口は昭和53年（1978年）に大阪市を抜き、市としては全国1位の人口となっている。



第4章 年齢別・男女別人口

本市の人口ピラミッドの形状の変化を追うと、昭和25年では概ね低い年齢階級ほど人口が多く、底辺に昭和22年～24年の第1次ベビーブームを反映した「富士山型」に近い形をしていた。昭和30年代に出生率が低下するものの、昭和40年代に入ると地方からの労働力の流入や第2次ベビーブームによる出生数の増加などがあって、昭和50年は都市共通の型とされる「星型」になった。その後は少子化により出生数の落ち込んだことにより、平成12年（2000年）では再び底がすぼむ「ひょうたん型」となり、さらに31年（2019年）では第1次ベビーブーム世代と第2次ベビーブーム世代を中心とした2つの膨らみが上方へ移動しているのがわかる。



お問合せ先

政策局統計情報課長 操 和憲 Tel 045-671-2050